
後 記

創立者・三田俊次郎は、明治30年(1897)4月20日に私立岩手病院を開設した際、医学講習所を併置し、医師養成をスタートさせていました。そのことに鑑み、本学の創立年を、岩手医学専門学校設立の昭和3年(1928)から、岩手病院開設の明治30年(1897)に改めました。そこで、平成29年(2017)4月20日が、創立120周年を迎える記念すべき節目の時となったのです。

創立理念に思いをいたし、新たな歴史を開拓する決意の証として、さまざまな記念事業が計画されました。その一環として、ここに本誌『岩手医科大学創立120周年記念誌—誠のあゆみ、未来へつなぐ—』を刊行し、空白のときを含む120年の歩みを振り返った次第です。

記念誌編集の母体として、祖父江憲治副学長(当時)を部会長とする史料整備専門部会が組織され、第1回の部会が開かれたのが平成27年(2015)7月14日のことです。その席で、従来の年史のスタイルではなく、写真を多用した読みやすい形式にするという編集方針が決められました。その後「創立120周年記念誌編纂に係る編集委員会」が編成され、1年6か月にわたり、資料の収集・整理・原稿執筆の作業が行われました。

学内の関係諸氏はもとより、圭陵会会員の皆様をはじめとして、学外の多くの方々に多大なるご協力をいただき刊行まで漕ぎ着けることができました。ここに記して、心より御礼申し上げます。

平林 香織